



## 【2012年度フォトアルバム】JAM・P北陸 編

### ◆ JAM・P北陸「2012 工場見学&被災地ボランティア」(2012/7/13~15, いわき市・仙台市)



JAM・P北陸として「工場見学&被災地ボランティア」を開催し、東北地方(いわき市・仙台市)を訪問。11単組より参加した18名は、東日本大震災から1年4ヶ月を経過した現地の様子を改めて肌身で感じることとなった。



1日目は日産自動車(株)いわき工場を見学し、高級車を中心に搭載されるVQエンジンの製造工程を見学した。 casting工程に始まる工場内は驚くほどきれいで、先進的な自動化と工夫された生産工程に感心させられた。



2日目は仙台空港にほど近い若林区でボランティア活動を実施。海岸から2kmあるこの辺りでも約1.5mの津波で被害が発生し、未だ元通りの状況ではない。今回のボランティアは、運送会社横の側溝に溜まった泥かきを行ったが、1年以上放置されたヘドロは悪臭がひどくその中からはガレキや衣類など様々な異物が発見された。



## 【2012年度フォトアルバム】JAM・P北陸 編

◆ JAM・P北陸「2012 工場見学&被災地ボランティア」(2012/7/13~15, いわき市・仙台市)



ボランティアの活動場所より、最も海に近い荒浜地区は、仙台市内でも津波の被害が特にひどかった地域だそう。見渡す限りの建物が土台だけの状態となり、付近に人が生活している気配は見られなかった。海岸近くには、多くの犠牲者を追悼し立てられた慰霊碑があり、参加者全員で黙祷を行った。



3日目は津波による被害が特に大きかった石巻を訪問し、車窓より現地を視察した。海岸にほど近い空き地は、どこもガレキが山積みの状態で、これらの処理や各自治体での受入に対する関心を高める必要性を感じた。



この辺りでは、津波が歩道橋に達する程の高さだったそうで、未だ手つかずの家屋も多く見られた。



他のボランティア団体が活動する姿も見られ、まだまだその必要性は感じられた。